

令和3年度 大田区立蒲田小学校 学校経営方針【概要版】

小学校教育の目的は、子供たち一人一人の能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を培い、将来の社会を担う人間を育成することです。

日々の教育活動では、生命及び自他の尊重を基盤として、**基礎的な学力の確実な定着、思いやりや規範意識の育成、体力の向上、生活習慣の定着**を図っていきます。本年度は、本校の特色である東京都人権尊重教育推進校の研究活動や、多様な交流学習等の機会を活用するとともに、学習・生活環境等の変化にも対応して、組織的な学習・生活指導の工夫・改善を図り、「**持続可能な社会の担い手を育てるー共生の学校ー**」の実現に取り組んで参ります。

学校経営の基本方針

1 子供が楽しく登校し、喜びの中で育つ学校

- 児童用タブレット端末の有効活用をはじめとして、授業の工夫・改善を図ることにより、学ぶことの楽しさを味わわせ、学習意欲の向上を目指します。
- 体験的な活動・学び合いを重視し、児童の実感的な理解の促進とともに、自他を肯定的に捉える意識の伸長を図ります。
- 国語科での「読むこと・書くこと」の指導や、算数科での少人数指導や習熟度別学習などにより、確かな学力の定着を図ります。
- 人権教育を通して、自らの存在の大切さを自覚させるとともに、他者との望ましい人間関係形成能力を育み、他者と協働して社会における問題をよりよく解決しようとする意識や態度を育てます。
- 「オリンピック・パラリンピック教育」の推進を通して、体力の向上とスポーツに生涯親しむ意識を育てます。
- 教職員が一体となった教育相談体制を充実し、いじめ、不登校等をはじめとした児童の困難の予防に努め、早期発見と組織的な解決を図ります。

2 保護者から信頼され、安心して子供を預けられる学校

- 学校の教育活動等について、積極的な情報提供を行い、学校教育に対する保護者の理解を深めます。
- 日々の安全点検や、安全指導を充実させ、事故の予防を徹底するとともに、万が一の事故・災害の発生時には、児童の身体・生命の安全を第一に、迅速かつ適切な対応に努めます。
- 保護者の相談を共感的に受け止め、家庭教育への助言や支援を行います。
- 保護者会や、PTA組織の活動などを活用し、保護者同士が交流し、連携して、共に子供を育てる態勢を整えます。

【教育目標】 すべての教育活動において人権尊重の精神を基調とし、知性と感性および、健全な心と体力を育み、平和な国際社会を築く人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定します。

- よく考えやりぬく子・・・自ら進んで学び、よく考えて、最後まであきらめずに目標を達成する子供を育てる。
- 心豊かでやさしい子・・・豊かな情操と思いやりにあふれ、共に助け合い支え合うことのできる子供を育てる。
- 健やかでたくましい子・・・心と体が健康で、何ごとにも意欲と誠意をもち、力強く取り組む子供を育てる。



142+h

コロナウィルス感染症予防対策の徹底を図りながら、各種教育活動の内容等を工夫し、多様な学びの場を設けていきます。

3 地域に愛され、共に子供を育む学校

- 学校の情報公開・発信等を一層充実し、学校教育に対する地域社会の理解を深め、地域と一体となって子供を育てます。
- 地域人材と連携し、地域環境を活用した学習で、子供たちに地域に対する感謝と愛情を育み、地域と共にある学校作りを推進します。
- 地域自治会や関係機関と連携して地域の防災拠点としての機能を高め、地域住民の安心・安全の確保に努めます。
- 地域行事等における学校施設の有効活用等を通して、「子供が育ち、地域が集う」学校の実現に努めます。

4 教員が自らの職責を誇りに思う学校

- すべての教職員が、職務の崇高な使命を自覚し、子供に対する愛情を基調とした質の高い教育活動を目指す学校組織を作ります。
- 人材育成等のための校内研修活動を一層充実し、教職員も「共に学ぶ」ことで多様な教育課題に適切に対応できる力を育てます。
- 教職員が、個性や能力、経験等を最大限に活かして職務に当たり、互いに高め合い、支え合うことのできる組織を作ります。
- 管理職は、教職員の悩みや苦勞を共有し、必要とされる適切な指導・支援を行うことで、「働き方改革」を推進し、安心して働ける学校風土を醸成します。